

平成 28 年度第 1 回酒田市地域公共交通会議議事録

(敬称略)

会 議 名	平成 28 年度第 1 回酒田市地域公共交通会議
開 催 日 時	平成 28 年 7 月 26 日 (火) 午後 2 時 57 分から午後 4 時
開 催 場 所	酒田市役所本庁舎第二委員会室 酒田市本町二丁目 2 番 4 5 号
出席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 19 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田市副市長 矢口明子[会長] ・ 庄内交通株式会社常務取締役 村紀明 ・ 庄内交通株式会社乗合バス課長 富樫圭介 (代理出席) ・ 山形県バス協会専務理事 安藤昭雄 (代理出席) ・ 一般社団法人山形県ハイヤー協会酒田支部長 山崎正人 ・ 酒田市自治会連合会会長 伊藤則義 ・ 酒田市地区自治会連合会会長 佐藤丈夫 ・ 八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 齋藤文之 ・ 平田地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 阿藤勝 ・ 酒田市老人クラブ連合会会長 武田正三 ・ 特定非営利活動法人酒田市障がい者福社会理事長 佐藤健治 ・ 国土交通省東北運輸局山形運輸支局首席運輸企画専門官 保坂浩昭 ・ 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所専門職 藤盛東 (代理出席) ・ 私鉄庄内交通労働組合副委員長 本間一芳 ・ 酒田警察署交通課長 渡邊彰人 (代理出席) ・ 庄内総合支庁道路計画課道路管理専門員 鈴木剛 (代理出席) ・ 酒田市建設部長 佐藤俊明 ・ 山形県庄内総合支庁総務企画部総務課連携支援室室長補佐 小松弘幸 (代理出席) ・ 酒田市企画調整部長 中川崇 <p>(事務局) 5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工観光部長 田中愛久 ・ 商工港湾課港湾空港交通主幹 箭子英雄 ・ 商工港湾課生活交通主査兼係長 小野慎太郎 ・ 商工港湾課生活交通係主査 大井庄栄 ・ 商工港湾課生活交通係主事 小松和輝
欠席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 2 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松山地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 池田重悦 ・ 東北公益文科大学学部長 神田直弥
協 議 題 等	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金実績報告の経過について ・ 平成 28 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請の経過について <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> [議案第 1 号] 酒田市地域公共交通網形成計画の承認について [議案第 2 号] 平成 27 年度事業実施報告 [議案第 3 号] 平成 27 年度酒田市地域公共交通会議会計決算 (案) [議案第 4 号] 監査報告 [議案第 5 号] 役員の選任について [議案第 6 号] 平成 28 年度事業計画 (案) [議案第 7 号] 作業部会設置案 (案) [議案第 8 号] 平成 28 年度酒田市地域公共交通会議会計予算 (案) <p>【そ の 他】</p>

【進行】事務局（小野）

1. 開会

2. 会長挨拶

- ・私は今年2月に副市長に就任し今回が初めての会議で、3月の交通会議までは庄内交通（株）常務取締役の村委員から会長代理として会の運営にあたっていただいた。心から感謝を申し上げたい。
- ・私は酒田に住む一市民として、公共交通を何とかしたいと思っていたので、是非、この会議で、より良い地域公共交通を実現出来たらと考えている。
- ・昨年度は、地域公共交通網形成計画の素案というところまで作っていただいた。本日もご承認をいただければ、計画成立となる。
- ・今年度については、その計画にあるとおり、具体的な再編実施計画を策定し、調整して準備をして実現していくことになると思う。
- ・公共交通の利便性の向上は、高齢者、障がいがある方の為のみならず、移住者を増やすことや、或いは大人でも運転が苦手な人の移動手段となる。
- ・公共交通が活発になれば、地域経済の活性化にもなるし、温暖化防止にもなるし、交通事故も減るのではないかということで、是非皆様からのご協力を得ましてより良いものにしていきたくと事務局共々思っているのので、どうかお力添えを賜りますようお願いしたい。
- ・本日は今年度の初回という事で、事務的な議題が多いと思う。その後、作業部会などについて具体的な調整があると思う。どうかお力添えを賜りますようお願いしたい。

3. 委員紹介及び事務局紹介

《出席者名簿参照（内容省略）》

【進行】

本日委員は、9番、20番の委員が欠席。

本日の出席者数について、構成員数21名中、代理出席を含め出席者が19名、欠席者が2名となり、構成員の過半数の出席が得られたので、要綱第7条第2項の規定のとおり、本日の会議が成立することをお知らせする。

《資料確認（内容省略）》

本会議の議事録署名については、名簿2番の村紀明委員、6番の伊藤則義委員からお願いしたいと思う。

会議設置要綱第7条第3項の規定により、交通会議の議長は会長が行うことになっているので、会長から議事進行をお願いしたい。

4. 報告事項

◆平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金実績報告の経過

◆平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請の経過

【事務局（港湾空港交通主幹）】

《資料説明》

【議長（会長）】

ただ今事務局より資料の説明があったが、不明な点等質問があればお願いしたい。
《質問なし》

5. 協議事項

◆【議案第1号】酒田市地域公共交通網形成計画の承認について

【事務局（港湾空港交通主幹）】

それでは初めに、資料説明に入る前に、計画概要を再度ご説明させていただく。

《概要版を用いて、資料説明》

- ・計画目的：持続可能な公共交通網の形成を図ること。
- ・計画期間：平成27年度が準備期間、平成28年度から5か年計画で行っていく。
- ・公共交通ネットワークの将来イメージとして3つの基本方針を掲げ、具体的実施内容4つのプロジェクトを掲げる。

プロジェクト1「公共交通再編戦略」、プロジェクト2「拠点強化戦略」、プロジェクト3「市民協同戦略」、プロジェクト4「わかりやすさ向上戦略」。

- ・各プロジェクトの具体的施策

施策1-1「市街地路線のわかりやすい路線への再編」として、民営と市営が競合する循環路線の再編を実施、役割分担の明確化を図る。施策1-4として、デマンド交通の再編を進める。

施策2-1として、市街地における拠点の整備として交通拠点を設け、できる限り市街地のバス路線が交通拠点を經由するように見直す。施策2-3として、交通拠点において待合環境の確保、整備も同時に進める。

施策3-1では、市民と公共交通を考える場の創出として、市民と意見交換やワークショップを通じて、よりよい公共交通のあり方についての話し合いを実施する予定。施策3-4として、モビリティマネジメントの推進。

施策4では、バス停等の環境整備やバスマップを作成し、情報提供・発信をおこなう。

【議長（会長）】

ただ今事務局より資料の説明があったが、不明な点等質問があればお願いしたい。

【藤盛委員】

議案第1号（1）のパブリックコメントの結果、意見等の応募なしとのことだが、募集の仕方に反省点、課題が無かったのか。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

事務局で、応募がなかったことについての原因究明等を行っていない。

しかし、今後、実施計画を決定するにあたっては、地域住民の声を聴きながら行っていく必要があると考えている。今回のパブリックコメントで応募がなかったから、市民の意見がないとは考えていないので、今後は、極力意見を聴きながら計画を立てていきたいと思っている。

【議長（会長）】

私としても、パブリックコメントを実施していることの周知の仕方について改善点があったのではないかと考え、改善するように提案したところである。ご指摘はもっともであり、今後改善したいと考えている。

【伊藤委員】

以前にも、「松山から余目へのアクセスが薄いので改善できないか」と意見を述べさせてもらった。「市内でない」と非常に難しい」との回答だったが、今回、A3資料の地図には破線で書かれているが、今回何か進展があったのか。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

特に進展はなし。資料の点線は検討項目として記載しているもの。

【伊藤委員】

松山地区の人は、市内より余目の方に近いが、家族が車で送迎しているとの現状を聞いたので、意見を述べさせてもらった。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

資料の2ページをご覧ください。破線の赤い線については「隣接市町との公共交通のあり方を検討する」ものとしている。

【藤盛委員】

A3概要版資料の4ページ、施策3-3で、「ノーマイカーデー実施」や「エコ通勤推進運動」を上げているが、具体的に市役所にお勤めの方から、職員がノーマイカーデーを率先してやるとか、バス通勤を推進するとか、そういうことをお考えなのか。

【事務局（大井）】

企業、大学と連携した施策の中で、ノーマイカーデー・エコ通勤推進運動を挙げている。これは、環境に係る各種事業として、環境衛生課でもエコ通勤の推進を掲げている。そうした関係部署と連携しながら、公共交通の利用推進と併せて取り組んでいきたいと考えている。

今お話しにあったような、市職員が率先してエコ通勤をするか、その内容については未だ協議していない。

しかし、市役所は、中心市街地にあり職員数も多い事業所と言えるので、市内在住の職員からは積極的に公共交通機関を利用してもらうような働きかけ、啓蒙活動をしていきたいと考えている。

【藤盛委員】

具体的な目途とかはあるのか。何年度から実施するとか。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

時期は、実施計画の中で検討していきたい。

【藤盛委員】

絵に描いた餅ということか。

資料に、具体的にどのように行うのかが一切書いていない。

具体的にいつどのようにやるのか、そういう目標を立てないと進めようがないのではないかと。「今後協議する」とよく言うが。

市役所の中で会議等やっているが、その中で「こういう事をやりましょう」と目標を立てれば、皆さん具体的な案が立てられると思うが、そういうことはやる気はないのか。

【事務局（大井）】

施策3の市民協働戦略の取り組みの一つとして上げているものだが、委員からのご意見に「様々な自治体の取り組んだ事の良い所を選んだだけの内容ではないか」との指摘もあったが、こちらの施策案は、再編の事業計画とは別になっており、交通網形成計画の5か年の中で取り組んでいく。

企業・大学と連携した取り組みについては、今年度、関係機関と調整・準備をしながら、内容について詰めて行くような形でスケジュールを組んでいる。

今年度調整を図り、来年度以降、具体的な事業内容をお示ししていくことになると思う。

【議長（会長）】

藤盛委員の意見と同じことを、事前説明を受けた際に事務局に申し上げた。施策3-4モビリティマネジメントの推進というのが、啓発の内容のようだ。

概要版の資料にはないが、素案の資料には、平成28年度に準備をし、平成29年度から実施するという計画を載せている。今年度中に、少なくとも市役所部分の計画を立てて実施していく話をしているところ。

項目が多いのでどこまでできるかというのはあるが、素案の方に挙げてある詳細なスケジュールに沿って、藤盛委員がおっしゃったように、できるところから実現していきたいと考えている。

議案第1号の計画承認ということで同意していただけるか。

≪「はい」との声≫

議案第1号については承認。

◆【議案第2号】平成27年度事業実施報告

◆【議案第3号】平成27年度酒田市地域公共交通会議会計決算（案）

【議長（会長）】

事務局より、議案第2号「平成27年度事業報告」、議案第3号「平成27年度酒田市地域公共交通会議会計決算（案）」について説明をお願いしたい。

【事務局（港湾空港交通主査）】

≪資料説明≫

【議長（会長）】

事務局からの説明について、不明な点等質問があればお願いしたい。

≪特になし≫

議案第2号、議案第3号について承認。

◆【議案第4号】監査報告

【議長（会長）】

議案第4号「監査報告」に移る。

平成27年度の監事は武田正三委員と佐藤健治委員をお願いしていた。代表して、武田委員より監査報告をお願いしたい。

【武田委員】

平成 27 年度酒田市地域公共交通会議会計の決算に関して、平成 28 年 7 月 12 日、酒田市身体障害者福祉センターにおいて、監査を実施した。監査した表簿等は、(1) 収支決算書、(2) 出納簿、(3) 収入調書、(4) 支出調書、(5) 預金通帳。

監査所見について、諸帳簿はよく整理されており、記載は正確であった。また、出納簿の記載と正当証書は完全に符合した。納入された国庫補助金の入金、及び事業者への支払いは正確に行われていた。以上報告する。

【議長（会長）】

監事より報告があった監査内容について、不明な点等質問があればお願いしたい。

《特になし》

議案第 4 号について承認。

◆【議案第 5 号】 役員の選任について

【議長（会長）】

事務局より、議案第 5 号「役員の選任について」説明をお願いしたい。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

役員の選任については、「酒田市地域公共交通会議設置要綱」第 5 号に基づき設置する。

会長 1 名は、市長が選任した委員があたることになるので、この場合、副市長が会長を担う。副会長、監事は、会長が指名する者になるので、会長よりお願いしたい。

【議長（会長）】

事務局案があれば説明をお願いしたい。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

今後も難しい協議が続くこともあり、事務局としては「継続」という事で、副会長を村紀明委員と神田直弥委員、監事を武田正三委員と佐藤健治委員に継続してお願いしたい。

【議長（会長）】

会長としても、事務局案に同意だが、いかがか。

《「異議なし」との声》

議案第 5 号について承認。

◆【議案第 6 号】 平成 28 年度事業計画（案）

◆【議案第 7 号】 作業部会設置（案）

◆【議案第 8 号】 平成 28 年度酒田市地域公共交通会議会計予算（案）

【議長（会長）】

事務局より、議案第 6 号「平成 28 年度事業計画（案）」、議案第 7 号「作業部会設置（案）」、議案第 8 号「平成 28 年度酒田市地域公共交通会議会計予算（案）」について説明をお願いしたい。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

《資料説明》

【議長（会長）】

事務局からの説明について、不明な点等質問があればお願いしたい。

【佐藤丈夫委員】

デマンド交通再編部会の構成員に、松山地域は入っているが、平田・八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会が入っていないが、別に相談の場を設けるといふことか。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

今ご意見あったように、必要な全ての地区を追加し、デマンド交通再編部会を進めていきたい。

【事務局（部長）】

今現在、デマンドタクシーは、松山地域と酒田市の旧市街地で利用できるのが現状。八幡地域はぐるっとバス、平田地域（一部）ではるんるんバスを利用できるため、デマンドタクシーは、松山地域だけということになっていたが、全体的に見直すという意味から、3地区含めて協議する方向で見直しを図りたい。

【保坂委員】

既に形成計画が出来上がっているのだから、地域の方々の移動ニーズは捉えられていると考えてよいのか。平成28年度の予算額だけ見ると、それほど多くはないので、ニーズデータがない状態で進めても良いものが出来ないのではないかと。

もし足りないようであれば、自治体の予算も活用して、しっかりしたデータを揃えた方がよい。

【事務局（部長）】

昨年、形成計画を作成する中で、市民アンケートを実施。また、それぞれの地区の乗降調査も行っているのだから、それを基に次の計画に向かいたいと考えている。

【村副会長】

それぞれの作業部会の取りまとめをする部会長は置かないのか。

また、作業部会が8月下旬と10月に開催されるが、時間的にはどのくらい設ける予定か。

2回の作業部会である程度の結論を求めて取りまとめ、11月の地域公共交通会議で報告するという流れか。

【事務局（港湾空港交通主幹）】

現在、部会長は置いていないが、今後、部会の中で決定していきたい。

具体的な時間は決めていない。流れに関してはおっしゃると通り。

【議長（会長）】

他に不明点等質問がなければ、議案第6号から議案第8号まで、作業部会の内容を一部修正の上同意ということによろしいか。

≪「はい」との声≫

議案第6号から議案第8号について承認。

【議長(会長)】

協議事項は以上になるが、その他、委員の皆様から質疑等あればお願いしたい。

【庄内交通㈱ 富樫課長】

「おためし体験バスのご案内」という資料を用意させてもらった。お客様から、「路線バスの乗り方がわからない」という声があり、乗り方をわかっていただいで利用してもらうきっかけにしようと思い、「おためし体験バス」を実施したいと考えている。

従来、小・中・高の児童生徒様向けには、「バスの乗り方教室」は実施していたが、対象範囲を地域住民全体に広げて実施することとした。団体の単位は、自治体でも老人クラブでも問わないので、ご興味があれば随時お問い合わせいただきたい。実施内容は資料掲載のとおりだが、対象となる方の層にもよるので、ご用命があれば個別対応していきたい。

【議長(会長)】

大変ありがたい。同様に、市のるんるんバスも「乗り方がわかればもっと利用するのに」という声もあるので、市の方でも考えたい。

【佐藤丈夫委員】

前回質問させていただいた、免許返納者に関する協議はその後どうなっているか。

【事務局(大井)】

交通課の方から、免許返納者の地区別状況データを得ているが、「市街地」と「郊外」という区分けでの情報に止まっている。継続して情報収集しながら、次の施策に繋がるような資料を作成し直し、その上で次回の交通会議までに皆様にお示ししたいと考えている。

《データ紹介(平成27年\酒田警察署管内・含遊佐町)》

旧酒田市市街地 193件、非市街地 73件

旧八幡町 16件、旧平田町 13件、旧松山町 8件、遊佐町 59件

【佐藤俊明委員】

公共交通の情報提供・発信方法が、「バスマップの作成、インターネットの活用」というのはアナログっぽい。

スマートホン等で、次のバスが何時でくるか、位置情報でバスがどこにいるかなどの情報提供なども検討しているのか。

【事務局(港湾空港交通主幹)】

データでバス時刻や遅れを見られるシステムは実際にあるがかなり高額になる。その導入も含めて検討していく予定だが、予算あつてのシステムなので現状では難しい。

【佐藤俊明委員】

予算的に無理なら、別案も検討するなど対応してほしい。将来的に一つのステップになると思うので。山形市では、実際に導入している。

【事務局(港湾空港交通主幹)】

承知しました。データは、今後整理してお示しできればと考えている。

【佐藤丈夫委員】

先ほども挙げた件だが、松山余目間の交通網整備について、自治体が違うので問題もある

のだろうが、実現性の見通しはあるのか。

【事務局（部長）】

北部定住圏の中でもその議論はあり、利用者の声として「松山地域から余目の病院まで運行できないか」という要望も挙がっている。実現するための検討事項として、バスがいいのかタクシーがいいのか、或いは一方通行でいいのか、酒田市と庄内町の負担の問題はどうするかなど、ハードルは高い。

しかし、様々な意味で都市間の交流は必要だと思うので、実現性うんぬんよりも検討することは継続していかなければと思っている。

【議長（会長）】

その他無いか。

本日は、予算・計画等事務的な内容になったが、これから始まる実質的な中身が重要になる。作業部会のみならず、個別にご説明ご意見を賜り、或いは調整という場面も出てくるかと思う。何とかしたいと思っている方ばかりの集まりと思っている。今後、一步でも前進しますようにお力添えいただきたい。

議事を終了して事務局にお返しする。

6. 閉会

以 上

[午後4時閉会]